



ALTと笑顔広がる交流体験

児童と外国語指導助手（ALT）との交流を保護者も一緒に体験できる取り組みが、芳田小学校で行われました。児童たちは単語を聞き逃さないよう真剣に耳を傾け、ALTの目を見ながら積極的に話し掛けました。英語が飛び交う教室で保護者らはその様子を温かく見守りました。児童からは「英語で自分の気持ちを伝えられた」「ALTのことをたくさん知れた」との声が聞かれました。〔6月2日〕



長年の善行に市民さわやか賞

市では善行のあった個人と団体に「市民さわやか賞」を贈呈しました。▶西山一也さん（野村町）＝少年野球チームを指導▶西村克己さん、西村勝代さん（黒田庄町船町）＝花壇整備を実施▶市場美代子さん（市原町）、篠原郁子さん（小坂町）、山本孝子さん（比延町）＝おりひめ体操の実施を支援▶宮崎憲十さん（野村町）＝子どもの見守りを実施▶スマイルベル＝楽器の演奏を通じて地域の高齢者と交流〔6月1日／市役所〕



地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施

中学2年生が職場体験を通じて生きる力を育む「トライやる・ウィーク」が市内93カ所で5日間にわたり実施され、市内4中学校の約280人が参加しました。

西脇病院では11人を受け入れ、2日目にリハビリテーションを体験。患者さんと一緒にアジサイの貼り絵作りを行い、手指の訓練による身体機能の回復について学びました。また、松葉づえ体験では扱い方に苦戦しながら、何度も挑戦しました。

最終の5日目には足浴の介助を体験。患者さんの足をせっけんで洗い、泡を洗い流すと「気持ちいいな」と声を掛けてもらいました。体調の回復につながる日常的な看護ケアの大切さを学びました。

職場体験を通じて、社会で働く大変さと面白さを肌で感じた5日間となりました。〔6月1日～5日〕



名車が市内を駆け巡る

世界の名車や旧車約130台が参加し、県内を走行する「コッパディ姫路」が2年ぶりに開催。立ち寄り先の市役所・市民交流施設オリナスでは、多くの来場者が手を振ったり、写真撮影をしたりして歓迎しました。〔6月6日〕



都麻乃郷あじさい園開園

西林寺（坂本）の境内にある「都麻乃郷あじさい園」が開園。まだ満開には少し早い状況の中、約1万2千平方メートルの園内を彩るアジサイを楽しもうと、初日から多くの人でにぎわいました。開園は7月5日まで。〔6月14日〕



播州織の振興を願う

織物感謝祭が機殿神社で執り行われ、織物業界関係者などが出席。祭殿に玉串が奉納されたほか、神事では製織の儀として3人の巫女による手織りの機織りが行われ、播州織のさらなる活性化と振興を祈願しました。〔5月31日〕



期待と決意を胸に、海外へ挑戦

中学生親善使節団として姉妹都市のアメリカ・レントン市へ派遣される生徒ら14人が結団式に出席。「全力で楽しみたい」「西脇市の魅力を伝えたい」など決意を述べました。使節団の派遣は昭和62年に始まり、コロナ禍の影響で一時的に中断。昨年、対面での交流が再開し、今年で35回目を迎えます。〔6月3日／市役所〕



善意の心で住みよいまちへ

兵庫県の「善意の日」に合わせて、西脇建設業協会の皆さんが市内各所で草刈りや剪定を行いました。平成11年から続く地域に根差した善意の美化活動として、まちの環境整備に取り組みました。また、市上下水道協同組合の皆さんは「水道週間」にちなみ、小中学校の水道施設の点検と修理を行いました。〔6月1日、4日〕